県職交渉（4月交渉①）概要

- 1 日 時 令和7年4月14日（月）
- 2 場 所 審理審問室
- 3 出席者 【当局】 行政経営部長、人事課長外
【組合】 委員長、副委員長、書記長外
- 4 議 題 執行体制・公募関係、早期卒試験、両立支援に係る法改正に伴う対応

項 目	組 合 主 張	当 局 回 答
執行体制・ 公募関係	<p>○公募に向けて基本的な考え方はどうか。</p> <p>○来年度の事業量増減についてはどうか。</p> <p>○人材育成できる体制になるようにしてくれ。</p> <p>○休職者が増えているので対応をしっかりと考えてくれ。</p>	<p>○今年度は定年退職がないが、退職見合いにフルタイム再任用と事業の増減を考慮して考える。</p> <p>○局と話を精査しているところだ。</p> <p>○退職見合いや事業増減等が基本だが、技術継承や人材育成の観点も踏まえながら考えていきたい。</p> <p>○減らしていけるよう、サポート等に引き続き取り組んでいく。</p>
早期卒試験	<p>○早期卒試験の申込み状況について、どのように分析しているか。</p>	<p>○テストセンター方式導入もあり、行政(SPI)は前年度と比較して大きく増加、総合土木も前年度より増加しており、一定の効果があるものと認識している。</p> <p>○一方で、獣医師は公募数に届いておらず残念だ。今年度から初任給調整手当を引き上げたが、リクルートの機会などを捉えて、引き続き積極的に周知していく。</p>
両立支援 に係る法 改正に伴 う対応	<p>○見直しの趣旨・内容を説明してくれ。</p> <p>○部分休業について、年の途中でパターンを変更できるのはどのような場合か。</p> <p>○取り方の選択肢が増えた背景・趣旨は。</p>	<p>○部分休業について現行の1日2時間以内に加え1年に10日相当時間数のパターンを選択可能とする。また、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するため、両立支援制度等の情報提供、意向確認等を行うこととする。</p> <p>○配偶者が入院した場合等、申出時に予測不能な事実が生じ、子の養育に著しい支障が生じると認められる場合だ。</p> <p>○日単位でも取得でき、学校行事等にも活用しやすくなる。</p>